

●30周年「記念の集い」の返答 100 通を突破。今年度の会費納入者は現在 58 名。

大変多くの皆さんからご返答をいただきました。これまで会員名簿の整理が会費納入者で確定してまいりまして名簿掲載者は多数おられました。会誌送付者は毎回 200 名近くで相当な財政負担となってきました。今回の取組を整理して確立させたいと思います。先の理事会で報告された会費納付者は 58 名と会計担当者から報告がありました。昨年度は 85 名で今年度は現在 58 名に激減して、30 年前の結成時に近づいているといわざるを得ない状況になっていることをお知らせします。

●第 32 回通常総会 第 2 回理事会が開催され活発な議論が交わされました。 8 月 29 日(土)

理事会は 8 月 29 日でしたので涼しくなるのではないかと期待をしていましたが暑さは厳しかったです。また理事諸氏も色々と私用が込み入り、出席は 4 名で委任状提出が 3 名という状況で漸く過半数の出席で成立できました。この日の最重要課題は、年度末から年度初めに降ってわいたように出された里山農園の返却問題にどう対応するのかということでした。これまでは地主さんを 100%信頼して口頭での借用許可で使用させていただいていました。地主の退会を皮切りに借用地三筆地の返還通知が事務所に届けられました。誰もが想像していなかった出来事で大騒動となり事務局会議で大論議になりました。地主との話し合いで一応これまで通りの使用は認められましたが、口頭約束ではダメで、賃貸契約書を結ぶべきだとの意見が中心でした。理事会では結論として書面での約束をすることに落ち着きました。その契約書の作成を岩佐理事長(弁護士)に依頼することになりました。

●京都府地域未来づくりプロジェクト交付金申請書を 9 月 2 日に提出しました。

昨年まで交響プロジェクトとしての交付金制度が行われていまして、里山の会は親子花見乗船体験や親子カヌー体験などを開催してきましたが、2026 年度当初はこの予算が組まれずこの制度が消えてしまいました。ところが 7 月に名前を「地域づくりプロジェクト」に変えて新しく生まれました。この制度が消えてしまうのではといささか寂しいとのことのように、これまで交付金受領者は今年度限りということで募集があり、里山の会は 26 イベントに対する交付金申請を致しました。もし受領決定がされれば一安心と思います。ぜひとも審査で合格が頂ければ有難いところです。

●第 31 回里山講演会を開催いたします。 9 月 5 日(土)13 時～ 中央公民館

川などでの水難事故が多発し、川は危険と強調され、川の行事への協力が得られなくなってきて住民と行政の橋渡し役として河川レンジャー制度が生まれ 20 年ほどが経過しました。里山の会が活動に調子が出てきた頃、木津川レンジャーが募集され、堤防の花と魚に興味があって、木津川は何処から流れているのかと疑問をもって活動を始めました。それから多くのレンジャーが誕生して川での活動を指導されるようになり今日を迎えています。この間の面白さや楽しさ、そして新しい発見など川から学び取った成果などを語っていただく講演会になればと企画しました。これまで約 10 人が誕生されてきましたが、今回は 4 名が出席をいただくになりました。それぞれ語り尽くせないほどのネタをお持ちですのでどうぞお聞きください。ご参集お待ちしております。

●松かさツリーの下準備を行います。お手伝いをお願いします。 9月9日(水)13:30~ 草内倉庫にて秋の楽しい取組があちこちで開催されますが、里山の会は9月26・27日の2日間に渡って京都植物園での「京都いきものフェス」に参加出展を致します。第一に竹蛇籠製作講習会を行い、来園者の皆さんとともに蛇籠編みを体験して頂こうと計画しています。真竹(節と節の間隔が30cm)を1/4に割った(幅45mm)の7mの帯状の竹を45cmの筒状に編み上げる工作を行います。少し前には堤防の補強資材として自然に優しく村人誰もが作れた取組で、生き物の棲み処にもなっていた竹蛇籠です。ご参加をお待ちしています。

第2に松かさツリー工作を提供いたします。京田辺市の木とされているナンキンハゼの実を使って松ぼっくりにピンセットで張り付けます。実には色を付けていますので出来上がれば楽しく綺麗な仕上がりになります。20分程度で出来ますので、各地の催しでは大変人気です。幼児からお年寄りまで作れますので沢山の参加があります。第3には竹が畑に繁茂して困っている農家の声をお聞きして竹の利用として鉛筆利用に取り組みました。シンプルなものから、ペンさしの付いたもの、色鉛筆、そしてイーゼルとして使えるものなどにアイデアが生かされています。小さいお子さんでも簡単に作りあげられますので取り組んでみてください。これは使い捨てとして出発したのですが放棄されるプラスチックゴミ対策に役立てればと考えています。第4にテントの周囲にこれまで取り組んできた調査結果やイベント案内のポスターやチラシ50点ほど展示いたします。活動紹介の場にしてみようと思います。お楽しみにしてください。

●9月20日(日)開催の親子カヌー体験の参加募集を間もなく開始いたします。

●8月29・30日里山農園教育棟で夜のライトトラップでの昆虫調査を行い、吉村君が集まった昆虫の同定をしてくれました。(右の写真)

ライトトラップに集まってきた生き物調査 成果

日時 2026年8月29・30日

場所 里山農園

調査員 吉村開

支援 大田敏之

ライトトラップで観察した昆虫

ヤママユ、エサキコミズムシ、アカイラガ、ヒメゲンゴロウ、ツクツクボウシ、シロオビノメイガ、アオドウガネ、ヒメコガネ、オオクロコガネ、ホシコヤガ、イネクロカメムシ、トゲヒシバツタ、ハラビロカマキリ、アオバアリガタハネカクシ、アオヒゲナガトビゲラ、サビキコリ、ヒメクルマコヤガ、キバラルリクビボソハムシ、ユスリカ科の一種、ニクバエ科の一種、ゴミムシダマシ科の一種、ヨコバイ科の一種 以上22種

晩夏で以前とは飛来してくる昆虫がかなり変化していると思います。



九月に咲く木津川の花



アレチヌスビトハギ



クサネム



カラスノゴマ



カゼグサ



メガルカヤ



イヌタデ